

小動物臨床現場における抗菌薬使用状況のアンケート結果

動物用抗菌剤研究会犬および猫における抗菌剤の使用実態調査委員会

委員長 片岡 康 (日本獣医畜産大学)

委員 左向敏紀 (日本獣医畜産大学)

内田幸治 (ファイザー(株))

熊井治孝 (熊井動物病院)

アドバイザー 内野富弥 (株動物エムイーリサチーセンター)

小動物臨床現場における治療に用いる抗菌薬の使用実態は、現在のところほとんど明らかにされていないのが実情である。食用動物の抗菌薬の使用に関しては、公衆衛生的観点から様々なサーベイランスやリスク評価が行われてきている。このことから、本研究会でも「小動物臨床現場における抗菌薬使用実態調査」の事業を興し、調査を進めてきたところである。4年間にわたり（平成13年度から平成16年度）臨床分野の先生方との協議を経て、全国各地の動物病院における抗菌薬使用実態調査のアンケート結果を取りまとめたので、参考にして頂ければ幸いである。

アンケートは全国の動物病院に協力をお願いし、返送されてきた有効回答総数44のデータを以下に取りまとめた。

イヌ、ネコを対象動物とする抗菌薬は、抗生物質として12成分、合成抗菌薬として8成分が承認されているのが現状であるが、アンケート結果ではペニシリン系8種、第一世代セフェム系4種、第二世代セフェム系2種、第三世代セフェム系7種、カルバペネム系2種、アミノグリコシド系8種、マクロライド系6種、リンコマイシン系2種、ペプチド系1種、テトラサイクリン系4種、ピリ

ドンカルボン酸系10種、クロラムフェニコール系2種、サルファ剤5種、その他4種および抗真菌薬2種の合計67種の抗菌薬が使用されていた（表1）。

各動物病院における抗菌薬の保有状況を見ると、最も少ない4種類から最も多い25種類までを保有しており、1動物病院当たり平均10.84種の抗菌薬を保有していた。また、保有数の多い順に抗菌薬を並べてみると、セファレキシンが39動物病院（88.6%）、エンロフロキサシンが38動物病院（86.4%）、アモキシシリンが35動物病院（79.5%）、アンピシリンが33動物病院（75.0%）であった（表2）。

動物種ごとの抗菌薬の使用割合を見てみると、イヌ、ネコではペニシリン系、セフェム系、ピリドンカルボン酸系の使用頻度が高かった。またエキゾチック動物に対しては、クロラムフェニコール系およびピリドンカルボン酸系の使用頻度が高かった。

今後も定期的に調査が行えるような環境作りを目指し、詳細なデータを取りまとめることができればと思っている。

表1 使用されていた抗菌薬

ペニシリン系	リンコマイシン系
ベンジルペニシリン	クリンダマイシン
アンピシリン	リンコマイシン
アンピシリン十クラブラン酸	ベプチド系
アモキシシリン	ポリミキシン B
アモキシシリン十クラブラン酸	テトラサイクリン系
クロキサシリン	テトラサイクリン
ピペラシリン	オキシテトラサイクリン
バカンピシリン	ドキシサイクリン
セフェム系 (第一世代)	ミノサイクリン
セファレキシン	ピリドンカルボン酸系
セファゾリン	ピペミジン酸
セファクロル	エンロフロキサシン
セファドロキシル	オフロキサシン
セフェム系 (第二世代)	ノルフロキサシン
セフメタゾール	オルビフロキサシン
セフロキシム	マルボフロキサシン
セフェム系 (第三世代)	シプロフロキサシン
セフィキシム	バズフロキサシン
セフジトレン	フレロキサシン
セフジニル	レボフロキサシン
セフォペラゾン	クロラムフェニコール系
セフミノクス	クロラムフェニコール
セフテラムピボキシル	チアンフェニコール
セフカベンピボキシル	サルファ剤
カルバペネム系	スルファモノメトキシ
イミペネム	スルファジメトキシ
ファロペネム	スルファメトキサゾール
アミノグリコシド系	サラゾスルファピリジン
ストレプトマイシン	スルファジアジン
カナマイシン	その他
ゲンタマイシン	ホスホマイシン
フラジオマイシン	メトロダニゾール
アミカシン	トリメトプリム・スルファジアジン
トブラマイシン	トリメトプリム・スルファメトキサゾール
リボスタマイシン	抗真菌剤
ジベカシン	ケトコナゾール
マクロライド系	グリセロフルビン
エリスロマイシン	
タイロシン	
スピラマイシン	
クラリスロマイシン	
ジョサマイシン	
ミデカマイシン	

太字：イヌ、ネコを対象動物とする抗菌薬

表2 動物病院における抗菌薬のごとの保有数 (上位 10 種)

順位	抗 菌 薬	保有動物病院数	%
1	セファレキシン	39	88.6
2	エンロフロキサシン	38	86.4
3	アモキシシリン	35	86.4 ²
4	アンピシリン	33	75.0
5	クロラムフェニコール	25	56.8
6	オフロキサシン	24	54.5
7	オルビフロキサシン	23	52.3
8	ドキシサイクリン	21	47.7
9	クリンダマイシン	19	43.2
10	ゲンタマイシン	14	31.8